



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754  
伊原 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第252号  
2016年1月25日  
発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 規制緩和による利益優先が「命・人生」を奪う

13人の若者の尊い命を奪い、28人の死傷者を生んだ軽井沢スキーバス転落事故。深夜の高速バスの事故が起きるたびに、安全対策が論じられますが、一向に改善されずに悲惨な事故が繰り返されてきました。前回の事故の検証が十分に行なわれて、根本的な安全対策が講じられていたら、今回の事故は起らなかったはずです。

住人たちの幸福な家庭生活が突然奪われた昨年1月の横浜市の大型マンションに端を発した杭打ち工事の偽装問題。これも効率や経済を最優先し、業界の要望に沿う形で進められた規制緩和の問題があります。

規制緩和による建築確認制度の民間開放により、行政の検査体制が弱体化したことが大きな原因の一つです。これらは自民党小泉内閣から引き継いだ安倍政治の規制緩和が招いたものです。

2001年4月小泉内閣の誕生から今のような新自由主義が始まり、なんでも「規制緩和、規制緩和」と叫ばれてきました。安全対策が十分に実行されないままに規制緩和だけが推し進められ、多くの企業が利潤を求めて、人員も安全も確保せずに野放しにされてきたのです。

柳田邦男氏は、「企業倫理の日本病」と題して、毎日新聞1月23日付朝刊で、「人間にとって一番大切なのは命のはずだ。ところが今の日本の企業社会のなかでは、利益の増大、『もっともっと』と金を儲けることが至上目的とされ、人間本来の価値観の倒錯が起きている」と憂慮されています。

## 安易で無責任な規制緩和を正す

今また新たに経済界と安倍政権が進めようとしている規制緩和の一つにライドシェア（相乗り）があります。自家用車のドライバーが有料で客を運ぶ商売です。個人タクシーの運転手になるには多く実績と厳しい試験を受け合格しなければなりません。ところがライドシェアはアルコールのチェックもなければ二種免許の取得もなし、事故時の対応もドライバー任せといういい加減なものです。これでは命がいくつあっても足りません。

人命にかかわる規制が緩くなって、日本の社会全体がゆがんできているのではないのでしょうか。規制緩和による事故は八千代市でも起こりえます。平成28年4月から保育園の保育士不足の解消という理由で保育士の資格がなくても保育所で勤務することができるようになります。ここにも安上がりの人材確保の実態があります。幼児期の大切な保育を無資格の人に行わせる安易な施策を変えなければなりません。

今の日本は国も地方も、個人の尊厳を大切にし、一人ひとりが幸福に生きられるように政治に変えなければなりません。そのために日本共産党は皆さんと一緒に政治の革新をめざして頑張ります。

